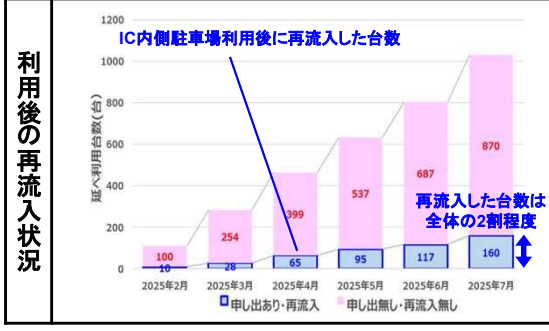


休憩施設空白区間の解消

休憩施設空白区間の解消に向けた取組み ～新たに『インターチェンジ内側駐車場』『ミニPA』の整備に着手～

- ▶ 休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現することを目的として、休憩施設間の距離が35km以上となる休憩施設空白区間において、インターチェンジ(以下、IC)内側の管理用敷地を開放し、臨時駐車場として整備
- ▶ 2025年より北関東道 桜川筑西IC、常磐道 浪江ICにおいて、IC内側駐車場を運用開始し、導入後の利用台数が徐々に増加傾向になっている実態もあり、ドライバーへの休憩機会の提供ができていることを確認
→東九州道 大分農業文化公園IC、日向ICにおいて『IC内側駐車場』の更なる試行拡大を実施
- ▶ 空白区間対策の新たな取組みとして、西九州道 武雄南IC～波佐見有田IC間 下り線の高速道路本線の未利用地を活用して、『ミニPA』を新たに整備

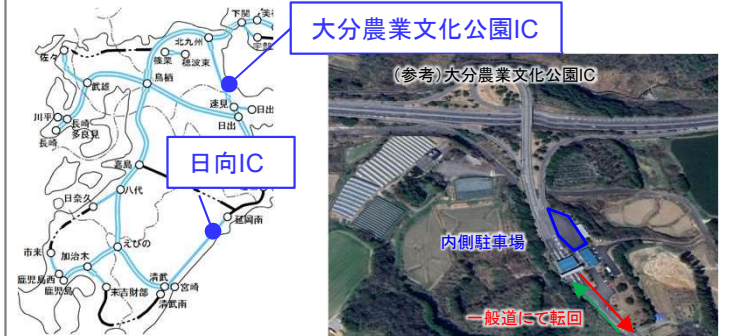
◇ IC内側駐車場の整備状況



※高速道路本線上に設置していたLED満空表示板は2026年4月より、撤去しています。

E50北関東道 桜川筑西ICの運用開始6ヶ月の利用状況

◇ IC内側駐車場の整備拡大



◇ ミニPAの整備

